

ちいさな 建設

道の駅江差



GORO

海へ抜けられます

北海道・函館から国道を西へ進み、日本海沿岸まで出たところに日本一小さい道の駅と言われる「道の駅江差」がある。観光や海遊びの人たちが向かう江差町の入口に位置し、江戸時代から明治にかけて、豊富に獲れたニシンと北前船による交易でおおいに栄えた。その繁栄が息づく町として、二〇一七年度に北海道第一号となる日本遺産に認定、見どころが多い。

日本海を一望でき、駅には江戸時代の江差に実在したと伝えられるとんちの名人「繁次郎」の像があるという、この場所ならではの魅力がある。町の観光スポットとしてもっと輝かせるために、二〇一九年、町役場と三つの大学、建築団体が協力してリニューアルプロジェクトを立ち上げ、クラウドファンディングで実現。建築面積約一三平方メートル、八畳ほどの広さ。観光案内と、小さいことに特化した展示品や名産品が左右のショーケースにこぢんまりと並ぶ。その間を五、六歩、裏口へ抜けるプランはとても新鮮だ。ウッドデッキに出ると、目の前に日本海が広がる。小さいからこそ通る抜ける魅力が凝縮されているようだ。

アクセス バス停「尾山」から歩いて3分ほど